

全国で約30万人が受け、高齢患者も増えている人工透析。腎不全が進むと、筋肉が衰えるほか、心不全など命にかかる病気も起きやすくなる。予防のため、軽い運動で体調を維持する「腎臓リハビリテーション」の取り組みが広がりつつある。

(岩永直子)

仙台市に住む主婦(55)は51歳の時、腎臓の働きが著しく低下した腎不全と診断され、人工透析を受け始めた。

人工透析は、血液を体外に循環させ、腎臓の代わりに入工の装置によって血液中の老廃物を取り除く。

リテーション科教授の上月正博さんによると、透析患者では、血液を造るホルモンの分泌が減り、体内のたんぱく質

の低栄養、骨格筋の減少などが起きやすい。

主婦は週に3回~4時間の透析に通ううち、徐々に筋肉が衰えていくのを感じた。長時間歩けなくなり、以前は軽々と持てた米袋が持てなくなつた。透析中はベッドで足がつり、体中にかゆみが出て身の置き所がなくなつた。血液中の成分のバランスが崩れ、神経障害が起きたとみられる。

こういった状態が続くと、心不全や低血圧などになつて心静が必要になり、さらに体動かして筋力増強を促す運動

を行つた。

自宅では朝晩30分ずつ、犬の散歩を続けた。すると翌年には体力に自信がつき、標高1172mの泉ヶ岳を夫と登頂した。全身のかゆみも消えた。「透析を始めた時は何もできなくなると落ち込みましたが、今は前向きです」と喜ぶ。

ウオーキングや自転車こぎ運動などを行うのが標準的だ。

軽い筋トレを組み合わせるとなお良い。透析中の時間を利

用する施設も増えている。

海外の研究では、透析中に運動すると老廃物の除去率が

高まり、透析時間を4時間から5時間に延長したのと同等

の効果があった。日本も参加

した別の研究では、運動する透析患者が施設内で10%増え

るごとに、年間死亡率が8%

ずつ減少した。

透析を終えた直後や体調が悪い時は避ける。自分で行う場合は主治医に相談しよう。

上月さんは「透析患者は安静

が一番とされてきたが、治療

や体調の維持には逆効果で

す」としている。

腎臓リハビリ

透析中に運動 体調維持

週3、4回、30~60分程度、ウォーキングや自転車こぎ運動などを行うのが標準的だ。

悪い時は避ける。自分で行う

場合は主治医に相談しよう。

上月さんは「透析患者は安静

が一番とされてきたが、治療

や体調の維持には逆効果で

す」としている。

腎臓リハビリテーション

(H24-3-24)
説直ナリ
既出

機能が失われた腎臓の代わりに、機械で血液中の老廃物を取り除く人工透析。腎不全が進むと、筋力の低下や貧血などを引き起こすとされ、軽い運動で体調を維持する「腎臓リハビリテーション」が注目されている

